

平成 23 年 4 月 6 日

特定非営利活動法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

理事長 有岡 正樹

特定非営利活動法人日本 PFI・PPP 協会

理事長 植田 和男

東日本大震災津波災害に関わるがれき早期処理方法および資金調達

3月11日に発生した「東日本大震災」の人的・物資的被害は日ごとにその激甚さを顕わにしてきており、その惨状は目を覆うばかりです。鋭意救援、復旧の総力が傾けられていますが、その被災の中でも住宅を含む様々な日常品が津波に洗われ、がれき化してその復旧の大きな足かせとなっており、適正な処理が焦眉の課題であることは明らかです。この点に関連し、地域内でのがれきの自浄を前提とした混合廃棄物・ソイルモルタル混合材築堤によるがれき処理とその資金調達を検討しました。前例のない災害、前例のない挑戦であります。

がれきは、それぞれの家族が生きてきた証しであります。すぐそばの堤の下にそれらの眠っていることが、末長く子孫に伝え引き継がれ、このような被害を繰り返さないことのメモリアルとなれば、との思いを込めて下記の通り提言いたします。

記

1. 緊急度最優先対応：廃棄物（がれき）・海水含有土壌処理

- (1) がれき（混合廃棄物）の処理・処分
- (2) 海水含有土および海岸部等堆積ヘドロの撤去、置き換え
- (3) 混合廃棄物ソイルモルタルによる封じ込め
 - ① コア遮水部（高流動化ソイルモルタル＋混合廃棄物）
 - ② ハイブリッド部（低流動化ソイルモルタル＋コンクリートガラ等）

2. 将来を見据えて：心の安らぎと安全

- (1) メモリアル公園機能
- (2) 避難誘導機能（減災機能）
- (3) 高潮防護機能（防災機能）

3. 資金調達

- (1) 国債発行等による国財政資金（地方自治体への国庫一括補助）
 - ① 従来型入札方式の採用（設計・建設）
 - ② PPP（DBO）方式の採用（長期：設計・建設・維持管理）
- (2) 民間資金の活用（地方自治体への国庫多年度補助）
 - ① PFI方式による財政負担の平準化（長期：設計・建設・維持管理等）
 - ② 「日本復興ファンド」の創設
 - ③ PFI方式の場合のスケジュール案

以上

お問い合わせ

社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (SLIM Japan) 有岡
〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-2-9 SP ビル 2F 地域未来研究所内
TEL: 03-6905-7273 / FAX: 03-3401-9666 有岡携帯 : 090-3401-6767
E-mail: arioka0530@yahoo.co.jp
URL : <http://www.slim-japan.org/>

日本PFI・PPP協会 事務局 野田
〒108-0014 東京都港区芝 4-3-7 エムジー田町ビル 4階
TEL: 03-5418-6881 / FAX: 03-5418-6885 E-mail: info@pfikyokai.or.jp
URL : <http://www.pfikyokai.or.jp>